

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和6年度) 2024年

活動日程	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	9	7	土	8:30	15:30	藤金市民の森	16名
活動名称	藤金里山体験会						報告者: 吉井 優

1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している藤金市民の森は、整備された雑木林が清々しく、近隣住民の散策路として親しまれている。藤小の野外学習でも使っているが、この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいたい。自然環境でいろいろな体験をした子ども達は、イメージ力、創造力、コミュニケーション力、協調力・忍耐力、問題解決力が増すとされている。なにより、非日常的な体験により、好奇心にあふれ旺盛な知識欲とともに心の豊かな大人に育ててくれることを期待する。

2、活動内容ほか

8時前からツリーイング指導団体は、ツリーイング準備をはじめていた。我々里山クラブスタッフは、8時半ごろ集合し、ハンモックはり、綱渡りロープ設置、川遊びの準備を始めた。9時ごろ協力団体スタッフも集まり、全員で準備作業に協力した。昨年秋に続いて、なかよっこクラブが森の生き物教室を開催し、子どもたちが楽しめた。

9時半から、受付を開始し、9時50分にイベント開始セレモニーを実施し、10時からツリーイング、ハンモック、綱渡り体験を開始した。11時から魚とり体験を実施し、12時に午前の部を終了し、昼食休憩とした。

12時半から午後の部を開始し、14時半から片付けをはじめ、15時に全て終了した。

3、評価:

7月、8月の毛呂山、坂戸のイベントが、猛暑のせいか、参加者が思うように集まらず低調だったため、9月とは言え、猛暑となり、不安を抱えた開催となった。結果子ども53名大人47名参加となり、予定人数の6割ほどで夢基金の参加人数限度ギリギリとなった。10年ほど前から藤金市民の森で開催しており、森の中は、暑さをしのげるとの認識が広がっていたと思われたが、今年の猛暑にはかなわなかった。ツリーイングも定員割れとなり、不安がよぎった。

ツリーイングは、そこそこ参加人数を確保できたが、綱渡り、ハンモック、魚とりは、順番待ちがなく、好きなだけ体験できた。

4、課題

今回、初めてネット経由のアンケートを実施した。近くの自然で楽しい体験ができ、満足とできたとの意見が多く、参加者は少なく残念であったが、参加してくれた家族や子供たちは、提供した自然体験を楽しんでくれたことがわかり、ジップライン検討など少しずつメニューを変えながら継続していききたい。

脚立の扱いで不安要素があった。脚立を使うときは2名で扱い、一人が脚立をしっかり支えてください。

受付に受付表示が必要との意見があったので、チラシに、「イベント保険適用のため参加者名簿が必須です。駆らず受付で名簿に記載してください。」の注意分を追加します。受付表示は、害にはなりませんから、必要と思われる方は、作ってもってきてください。

<里山参加会員>

佐野英、小嶋、小沼、柳川、小澤邦、杉山、田中、木部

阿部、吉井、石川、牛島、吉富、 撮影時不在 石樽、柏木、井上

<活動写真>

